

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 7 月 8 日(2025.7.8)

【公開番号】特開 2023-38953(P2023-38953A)
【公開日】令和 5 年 3 月 20 日(2023.3.20)
【年通号数】公開公報(特許)2023-052
【出願番号】特願 2021-142031(P2021-142031)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 6 月 30 日(2025.6.30)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

遊技球が入球し得る入球手段と、
その入球手段へと遊技球が入球した場合に情報を取得し得る取得手段と、
少なくとも前記取得手段により取得された前記情報が記憶され得る記憶手段と、
その記憶手段に記憶されている前記情報に基づく判別を実行し得る判別手段と、を有し、
前記判別の実行に基づいて第 1 表示手段において所定の動的表示が行われ、該所定の動的
表示が行われた後で前記判別手段による判別結果を示すための識別情報が前記第 1 表示手
段に停止表示され得るように構成され、

30

特定の前記判別結果を示すための前記識別情報が前記第 1 表示手段に停止表示された場合
に遊技者に特典が付与され得るように構成され、
前記所定の動的表示が行われている期間に前記第 1 表示手段とは異なる第 2 表示手段にお
いて所定の変動表示が行われ、該所定の変動表示が行われた後で前記判別結果を示す表示
態様で第 1 図柄が前記第 2 表示手段に停止表示され得るように構成された遊技機において

—
所定事象が発生した場合に前記第 1 図柄とは異なる第 2 図柄が前記第 2 表示手段における
前記第 1 図柄が停止表示される表示領域とは異なる表示領域を少なくとも含む所定表示領
域に表示され得るように構成され、

前記第 2 図柄は、
第 1 態様と、その第 1 態様とは異なる第 2 態様と、を少なくとも含む複数の態様のうち何
れかの前記態様で前記表示され得るように構成され、
前記第 1 態様で前記表示された場合よりも前記第 2 態様で前記表示された場合の方が前記
特典が付与される可能性が高いことが遊技者に示唆され得るように構成され、
前記遊技機は、

40

前記所定の変動表示が行われている期間に前記所定事象が発生し得るように構成され、
前記所定の変動表示が行われている期間において前記記憶手段に前記情報が記憶されてい
ない状況から所定の前記第 2 図柄が前記表示された状況となった場合に、該所定の変動表
示に対応する前記第 1 図柄が停止表示された後において該所定の第 2 図柄が演出動作され
得るように構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技球が入球し得る入球手段と、その入球手段へと遊技球が入球した場合に情報を取得し得る取得手段と、少なくとも前記取得手段により取得された前記情報が記憶され得る記憶手段と、その記憶手段に記憶されている前記情報に基づく判別を実行し得る判別手段と、を有し、前記判別の実行に基づいて第1表示手段において所定の動的表示が行われ、該所定の動的表示が行われた後で前記判別手段による判別結果を示すための識別情報が前記第1表示手段に停止表示され得るように構成され、特定の前記判別結果を示すための前記識別情報が前記第1表示手段に停止表示された場合に遊技者に特典が付与され得るように構成され、前記所定の動的表示が行われている期間に前記第1表示手段とは異なる第2表示手段において所定の変動表示が行われ、該所定の変動表示が行われた後で前記判別結果を示す表示態様で第1図柄が前記第2表示手段に停止表示され得るように構成され、所定事象が発生した場合に前記第1図柄とは異なる第2図柄が前記第2表示手段における前記第1図柄が停止表示される表示領域とは異なる表示領域を少なくとも含む所定表示領域に表示され得るように構成され、前記第2図柄は、第1態様と、その第1態様とは異なる第2態様と、を少なくとも含む複数の態様のうち何れかの前記態様で前記表示され得るように構成され、前記第1態様で前記表示された場合よりも前記第2態様で前記表示された場合の方が前記特典が付与される可能性が高いことが遊技者に示唆され得るように構成され、前記遊技機は、前記所定の変動表示が行われている期間に前記所定事象が発生し得るように構成され、前記所定の変動表示が行われている期間において前記記憶手段に前記情報が記憶されていない状況から所定の前記第2図柄が前記表示された状況となった場合に、該所定の変動表示に対応する前記第1図柄が停止表示された後において該所定の第2図柄が演出動作され得るように構成されている。

10

20

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1記載の遊技機によれば、遊技球が入球し得る入球手段と、その入球手段へと遊技球が入球した場合に情報を取得し得る取得手段と、少なくとも前記取得手段により取得された前記情報が記憶され得る記憶手段と、その記憶手段に記憶されている前記情報に基づく判別を実行し得る判別手段と、を有し、前記判別の実行に基づいて第1表示手段において所定の動的表示が行われ、該所定の動的表示が行われた後で前記判別手段による判別結果を示すための識別情報が前記第1表示手段に停止表示され得るように構成され、特定の前記判別結果を示すための前記識別情報が前記第1表示手段に停止表示された場合に遊技者に特典が付与され得るように構成され、前記所定の動的表示が行われている期間に前記第1表示手段とは異なる第2表示手段において所定の変動表示が行われ、該所定の変動表示が行われた後で前記判別結果を示す表示態様で第1図柄が前記第2表示手段に停止表示され得るように構成され、所定事象が発生した場合に前記第1図柄とは異なる第2図柄が前記第2表示手段における前記第1図柄が停止表示される表示領域とは異なる表示領域を少なくとも含む所定表示領域に表示され得るように構成され、前記第2図柄は、第1態様と、その第1態様とは異なる第2態様と、を少なくとも含む複数の態様のうち何れかの前記態様で前記表示され得るように構成され、前記第1態様で前記表示された場合よりも前記第2態様で前記表示された場合の方が前記特典が付与される可能性が高いことが遊技者に示唆され得るように構成され、前記遊技機は、前記所定の変動表示が行われている期

30

40

50

間に前記所定事象が発生し得るように構成され、前記所定の変動表示が行われている期間において前記記憶手段に前記情報が記憶されていない状況から所定の前記第 2 図柄が前記表示された状況となった場合に、該所定の変動表示に対応する前記第 1 図柄が停止表示された後において該所定の第 2 図柄が演出動作され得るように構成されている。

10

20

30

40

50